

新規採用医薬品 No. 131

2024 年 6 月

一宮市立市民病院
薬 剤 局

【新規正規採用医薬品】

アルドメット錠 250

ミノファージェン製薬

組成：1錠中 メチルドパとして 250mg

効能・効果：高血圧症（本態性）、高血圧症（腎性等）、悪性高血圧

用法・用量：メチルドパとして、通常成人初期 1日 250～750mg の経口投与からはじめ、適当な降圧効果が得られるまで数日以上の間隔をおいて 1日 250mg ずつ増量する。

通常維持量は 1日 250～2,000mg で 1～3 回に分割経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

1. 本剤は中枢性交感神経抑制薬である。
2. 本剤は国内外の診療ガイドラインにおいて、高血圧、妊娠高血圧症候群に対する降圧薬として推奨されている製剤である。
3. 薬価は 1錠 16.8 円。

オンボ一点滴静注 300mg

持田製薬

組成：1V 中 ミリキズマブ（遺伝子組換え） 300mg

効能・効果：中等症から重症の潰瘍性大腸炎の寛解導入療法（既存治療で効果不十分な場合に限る）

用法・用量：通常、成人にはミリキズマブ（遺伝子組換え）として、1回 300mg を 4 週間隔で 3 回（初回、4 週、8 週）点滴静注する。なお、12 週時に効果不十分な場合はさらに 1回 300mg を 4 週間隔で 3 回（12 週、16 週、20 週）投与することができる。

また、ミリキズマブ（遺伝子組換え）皮下投与用製剤による維持療法中に効果が減弱した場合には、1回 300mg を 4 週間隔で 3 回点滴静注することができる。

1. 本剤は抗腫瘍免疫の誘導及び細菌やウイルスによる感染の防御に重要な役割を果たしていることが示唆されている、インターロイキン（IL）-12 には結合せず、潰瘍性大腸炎の粘膜炎症に関与している IL-23 の p19 サブユニットに特異的に結合し、IL-23 受容体との相互作用を阻害するモノクローナル抗体製剤である。
2. 薬価は 1V 189,785 円。

オンボー皮下注 100mg オートインジェクター

持田製薬

組成：1キット中 ミリキズマブ（遺伝子組換え） 100mg

効能・効果：中等症から重症の潰瘍性大腸炎の維持療法（既存治療で効果不十分な場合に限る）

用法・用量：ミリキズマブ（遺伝子組換え）点滴静注製剤による導入療法終了4週間後から、通常、成人にはミリキズマブ（遺伝子組換え）として1回200mgを4週間隔で皮下投与する。

1. 本剤は抗腫瘍免疫の誘導及び細菌やウイルスによる感染の防御に重要な役割を果たしていることが示唆されている、インターロイキン（IL）-12には結合せず、潰瘍性大腸炎の粘膜炎症に関与しているIL-23のp19サブユニットに特異的に結合し、IL-23受容体との相互作用を阻害するモノクローナル抗体製剤である。
2. 本剤は固定注射針付きシリンジを注入器にセットしたオートインジェクター製剤である。
3. 本剤は在宅自己注射指導管理料の対象薬剤である。
4. 薬価は 1キット 125,123 円。

コムレクス耳科用液 1.5%

セオリアファーマ

組成：1mL中 日局レボフロキサシン水和物 15mg

効能・効果：〈適応菌種〉

本剤に感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、モラクセラ（ブランハマメラ）・カタラーリス、肺炎桿菌、エンテロバクター属、セラチア属、インフルエンザ菌、緑膿菌、アシネトバクター属

〈適応症〉

外耳炎、中耳炎

用法・用量：通常、1回6～10滴を1日2回点耳する。点耳後は約10分間の耳浴を行う。なお、症状により適宜回数を増減する。

1. 本剤はグラム陽性菌及びグラム陰性菌に対して幅広く抗菌作用を示す高濃度のレボフロキサシン水和物を含有する点耳剤である。
2. 本剤は耳鼻咽喉科領域感染症の中耳炎及び外耳炎に対し、1日2回の点耳投与で臨床効果を示す製剤である。
3. 本剤は防腐剤（ベンザルコニウム塩化物など）を含有していない点耳剤である。
4. 薬価は 1瓶 1,568.1 円。

サフネロ点滴静注 300mg

アストラゼネカ

組成：1V中 アニフロルマブ（遺伝子組換え） 300mg

効能・効果：既存治療で効果不十分な全身性エリテマトーデス

用法・用量：通常、成人にはアニフロルマブ（遺伝子組換え）として、300mgを4週間ごとに30分以上かけて点滴静注する。

1. 本剤はヒト免疫グロブリンG1κ（IgG1κ）モノクローナル抗体でありI型インターフェロンα受容体のサブユニット1（IFNAR1）に結合する新規の全身性エリテマトーデス治療薬

である。

2. 本剤は体重等による用量調整の不要な製剤である。
3. 薬価は 1V 96,068 円。

ナノゾラ皮下注 30mg オートインジェクター

大正製薬

組成：1キット(0.375mL)中 オゾラリズマブ（遺伝子組換え） 30mg

効能・効果：既存治療で効果不十分な関節リウマチ

用法・用量：通常、成人にはオゾラリズマブ（遺伝子組換え）として1回 30mg を4週間の間隔で皮下投与する。

1. 本剤は2つの抗ヒト TNF α ナノボディ[®]分子(ナノボディ[®]分子：ラマ由来重鎖抗体の可変領域から作製した単ドメイン抗体)と1つの抗ヒト血清アルブミン (HSA) ナノボディ[®]分子を持つ三量体構造の日本初のヒト化融合タンパク質(低分子抗体)製剤である。
2. 本剤は分泌型ヒト TNF α に対する阻害活性と膜結合型ヒト TNF α 及び HSA に対する特異的な結合能を有する製剤である。
3. 本剤は1回分の薬剤があらかじめ充填されており、針ガードを皮膚に押し当てると投与が開始され、投与時にボタン操作が不要である上に、投与の前後で注射針が針ガードに覆われるため、投与時の針刺し事故を防ぐことが期待される製剤である。
4. 本剤は在宅自己注射指導管理料の対象薬剤である。
5. 薬価は 1キット 112,791 円。

ハルロピテープ 8mg

協和キリン

組成：1枚中 ロピニロール塩酸塩 8mg

効能・効果：パーキンソン病

用法・用量：通常、成人にはロピニロール塩酸塩として1日1回 8mg から始め、以後経過を観察しながら、必要に応じて1週間以上の間隔で、1日量として8mg ずつ増量する。いずれの投与量の場合も1日1回、胸部、腹部、側腹部、大腿部又は上腕部のいずれかの皮膚に貼付し、24時間毎に貼り替える。なお、年齢、症状により適宜増減するが、ロピニロール塩酸塩として1日量 64mg を超えないこととする。

1. 本剤は1日1回投与の経皮吸収型ドパミン作動性パーキンソン病治療剤である。
2. 本剤は薬物吸収過程において消化管障害の影響を受けない製剤である。
3. 本剤は経皮吸収型製剤のため患者の家族や介護者でも患者に貼ることができ、使用状況を目視で確認できること、手術前後に絶食を要する場合や誤嚥性肺炎等の全身状態の悪化に伴い経口摂取を中止せざるを得ない場合でも継続して使用できること、副作用が発現した際には剥離することによりそれ以上の曝露を回避できることといったメリットのある製剤である。
4. 本剤は支持体に直接日付が書き込める製剤である。
5. ハルロピテープ 24mg は院外専用採用。
6. 薬価は 1枚 312.9 円。

ビンゼレックス皮下注 160mg オートインジェクター

ユーシービージャパン

組成：1キット(1.0mL)中 ビメキズマブ（遺伝子組換え） 160mg

効能・効果：既存治療で効果不十分な下記疾患

- 尋常性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症
- 乾癬性関節炎
- 強直性脊椎炎、X線基準を満たさない体軸性脊椎関節炎

用法・用量：〈尋常性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症〉

通常、成人にはビメキズマブ（遺伝子組換え）として、1回 320mg を初回から 16 週までは 4 週間隔で皮下注射し、以降は 8 週間隔で皮下注射する。なお、患者の状態に応じて 16 週以降も 4 週間隔で皮下注射できる。

〈乾癬性関節炎〉

通常、成人にはビメキズマブ（遺伝子組換え）として、1回 160mg を 4 週間隔で皮下注射する。

〈強直性脊椎炎、X線基準を満たさない体軸性脊椎関節炎〉

通常、成人にはビメキズマブ（遺伝子組換え）として、1回 160mg を 4 週間隔で皮下注射する。

1. 本剤はインターロイキン(IL)-17A、IL-17F 及び IL-17A/F サイトカインに対し、選択的かつ強力に結合して中和する、2つの同一の抗原結合領域を持つ、免疫グロブリン(Ig) G1 サブクラスのヒト化完全長モノクローナル抗体製剤である。
2. 本剤の自己投与(自己注射)は、4週間に1回投与の場合のみ可能となっている。
3. 本剤は採取用量が1.0mL以上となるよう薬液を充填した1mLガラス製シリンジ(PFS)とオートインジェクター(AI)装置部品からなる単回使用AI機器製品(コンビネーション製品)である。
4. 本剤は2024年6月末日まで市販直後調査の対象となっている。
5. 薬価は 1キット 156,820 円。

ベオビュ硝子体内注射用キット 120mg/mL

ノバルティスファーマ

組成：1キット(0.165mL)中 ブロルシズマブ（遺伝子組換え） 19.8mg

効能・効果：中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性
糖尿病黄斑浮腫

用法・用量：〈中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性〉

ブロルシズマブ（遺伝子組換え）として 6mg（0.05mL）を 4 週ごとに 1 回、連続 3 回（導入期）硝子体内投与する。その後の維持期においては、通常、12 週ごとに 1 回、硝子体内投与する。なお、症状により投与間隔を適宜調節するが、8 週以上あけること。

〈糖尿病黄斑浮腫〉

ブロルシズマブ（遺伝子組換え）として 6mg（0.05mL）を 6 週ごとに 1 回、通常、連続 5 回（導入期）硝子体内投与するが、症状により投与回数を適宜

減じる。その後の維持期においては、通常、12週ごとに1回、硝子体内投与する。なお、症状により投与間隔を適宜調節するが、8週以上あけること。

1. 本剤は血管内皮増殖因子-A (VEGF-A) の受容体結合部位に結合することにより、血管内皮細胞表面に発現する受容体 (VEGF受容体1及びVEGF受容体2) へのVEGF-A の結合を阻害する製剤である。
2. 本剤は組換え一本鎖抗体フラグメントであり、既存のVEGF 阻害薬と比べて分子量が小さく、既存薬より10~20 倍高いモル濃度での投与が可能となっている製剤である。
3. 本剤はシリンジに薬液を充填・施栓した単回使用の注射剤で、薬液調製における煩雑な作業が簡略化でき、医療現場の負担を軽減することが可能なプレフィルドシリンジ製剤である。
4. 薬価は 1キット 130,951 円。

メサペイン錠 5mg

テルモ

組成：1錠中 メサドン塩酸塩 5mg

効能・効果：他の強オピオイド鎮痛剤で治療困難な下記疾患における鎮痛
中等度から高度の疼痛を伴う各種癌

用法・用量：本剤は、他の強オピオイド鎮痛剤から切り替えて使用する。

通常、成人に対し初回投与量は本剤投与前に使用していた強オピオイド鎮痛剤の用法・用量を勘案して、メサドン塩酸塩として1回5~15mgを1日3回経口投与する。

その後の投与量は患者の症状や状態により適宜増減する。

1. 本剤は他の強オピオイド鎮痛剤の投与では十分な鎮痛効果が得られない患者で、かつオピオイド鎮痛剤の継続的な投与を必要とするがん疼痛患者にのみ使用する薬剤であり、他の強オピオイド鎮痛剤から切り替えて使用する製剤である。
2. 本剤は薬理的及び薬物動態学的特性等から他の強オピオイド鎮痛剤と異なる臨床的位置づけとなっており、経口モルヒネ量60mg/日未満のオピオイド鎮痛剤からの切り替えは推奨されていない製剤である。
3. 本剤は血中濃度が定常状態に達するまでに6~9日を要し、7日未満の増量は過量投与となる可能性があることから投与後及び増量後少なくとも7日間は増量を行わない製剤である。
4. 本剤はe-learningを受講し、理解度確認試験に合格した医師のみ処方可能な製剤である。
5. 本剤は1回14日分の投与日数制限が設けられている製剤である。
6. 本剤は緩和ケア科限定の製剤である。
7. 薬価は 1錠 184.8 円。

レグナイト錠 300mg

アステラス製薬

組成：1錠中 ガバペンチン エナカルビル 300mg

効能・効果：中等度から高度の特発性レストレスレッグス症候群（下肢静止不能症候群）

用法・用量：通常、成人にはガバペンチン エナカルビルとして1日1回600mgを
夕食後に経口投与する。

1. 本剤はガバペンチンの薬物動態を改善する目的でプロドラッグ化された製剤である。
2. 本剤は国内における既存のレストレスレッグス症候群治療剤とは異なる作用機序を有する製剤である。
3. 本剤は症状が出現しやすい夜間に高い血中濃度を得ること、1日1回投与によるコンプライアンスの向上を目的とした徐放性製剤である。
4. 薬価は 1錠 66 円。

【正規採用規格変更医薬品】

カルチコール注射液 8.5%10mL

日医工

1. 本剤はカルチコール注射液 8.5%5mL からの切り替えである。
2. 薬価は 1管 96 円。

【先発から後発への切り替え医薬品】

ゲムシタビン点滴静注用 200mg・1g「ヤクルト」

高田製薬

1. 本剤はジェムザール注射用 200mg・1g からの切り替えである。
2. 薬価は 200mg 1V 955 円、1g 1V 4,494 円。

プロポフォール静注 1%20mL「マルイシ」

丸石製薬

1. 本剤はディプリバン注 1%20mL からの切り替えである。
2. 薬価は 1管 752 円。

ラニビズマブ BS 硝子体内注射用キット 10mg/mL「センジュ」

千寿製薬

1. 本剤はルセンチス硝子体内注射用キット 10mg/mL からの切り替えである。
2. 薬価は 1筒 74,282 円。

【正規採用製造中止等に伴う切り替え医薬品】

アメジニウムメチル硫酸塩錠 10mg「フソー」

扶桑薬品工業

1. 本剤はアメジニウムメチル硫酸塩 10mg「サワイ」からの切り替えである。
2. 薬価は 1錠 6.7 円。

エピルビシン塩酸塩注射用 10mg・50mg 「NK」

日本化薬

1. 本剤はエピルビシン塩酸塩注射用 10mg・50mg 「サワイ」からの切り替えである。
2. 薬価は 10mg 1瓶 1,473 円、50mg 1瓶 7,040 円。

グリセオール注

太陽ファルマ

1. 本剤はグリセレブ配合点滴静注(200mL)からの切り替えである。
2. 薬価は 1袋 306 円。

シザナリン配合点滴静注液

日新製薬

1. 本剤はボルビックス注からの切り替えである。
2. 薬価は 1管 59 円。

ボグリボース OD錠 0.3mg 「トーワ」

東和薬品

1. 本剤はボグリボース錠 0.3mg 「トーワ」からの切り替えである。
2. 本剤は水なしでも服用できる口腔内崩壊錠である。
3. 薬価は 1錠 10.1 円。

リドカイン塩酸塩注 0.5%・1%・2% 「日新」

日新製薬

1. 本剤はリドカイン塩酸塩注射液 0.5%・1%・2% 「VTRS」からの切り替えである。
2. 薬価は 0.5% 1管 66 円、1% 1管 80 円、2% 1管 97 円。

【院外専用採用から後発及び

正規採用への切り替え医薬品】

ゾニサミド OD錠 25mgTRE 「SMPP」

住友ファーマ

1. 本剤はトレリーフ OD錠 25mg からの切り替えである。
2. 本剤はオーソライズド・ジェネリックで先発品と原薬、添加物、製造方法、製剤上の特徴および効能効果が同一の製剤である。
3. 薬価は 1錠 321.3 円。

【院外専用採用医薬品】

アリドネパッチ 27.5mg

興和

組成：1枚中 ドネペジル 27.5mg

効能・効果：アルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制

用法・用量：通常、軽度～中等度のアルツハイマー型認知症患者にはドネペジルとして、

1日1回 27.5mg を貼付する。高度のアルツハイマー型認知症患者にはドネペジルとして、27.5mg で4週間以上経過後、55mg に増量する。なお、症状により1日1回 27.5mg に減量できる。

本剤は背部、上腕部、胸部のいずれかの正常で健康な皮膚に貼付し、24時間毎に貼り替える。

1. 本剤は定常状態において27.5mg の1日1回貼付がドネペジル塩酸塩経口製剤5mg 1日1回投与と同等のAUC_{0-24h}を示す経皮吸収型製剤（パッチ剤）である。
2. 本剤は多剤の経口服薬、嚥下困難や寝たきりといった患者への投与の場合にもアドヒアランスの向上が期待され、同時に、介護者等による患者への投薬管理も容易になると考えられる製剤である。
3. 本剤は光線過敏症が発現するおそれがあるので、衣服で覆う等、貼付部位への直射日光を避ける必要があり、また、本剤を剥がした後も貼付部位への直射日光を3週間は避ける必要がある製剤である。
4. 本剤使用中は皮膚刺激を避けるため、貼付部位を毎回変更し、同一部位への貼付は、7日以上の間隔をあける必要がある製剤である。
5. 本剤は固定用シートに貼付した日時をペンなどで記入することができる製剤である。
6. 薬価は 1枚 286.4 円。

ウゴービ皮下注 0.25mgSD

ノボ ノルディスク ファーマ

組成：1筒中 セマグルチド（遺伝子組換え） 0.25mg

効能・効果：肥満症

ただし、高血圧、脂質異常症又は2型糖尿病のいずれかを有し、食事療法・運動療法を行っても十分な効果が得られず、以下に該当する場合に限る。

- ・BMI が 27kg/m² 以上であり、2つ以上の肥満に関連する健康障害を有する
- ・BMI が 35kg/m² 以上

用法・用量：通常、成人には、セマグルチド（遺伝子組換え）として0.25mg から投与を開始し、週1回皮下注射する。その後は4週間の間隔で、週1回0.5mg、1.0mg、1.7mg 及び2.4mg の順に増量し、以降は2.4mg を週1回皮下注射する。なお、患者の状態に応じて適宜減量する。

1. 本剤は肥満症治療のために承認された、週1回皮下投与のGLP-1受容体作動薬である
2. 本剤は、GLP-1受容体を介して、脳における食欲の調節機構に対して作用すること等により、肥満症患者に対して体重減少効果を発揮することが期待される製剤である。
3. 本剤は固定注射針付きシリンジを注入器にセットした単回使用のコンビネーション製品である。
4. 本剤は2024年8月末日まで市販直後調査の対象となっている。
5. 薬価は 1筒 1,876 円。

ハルロピテープ 24mg

協和キリン

組成：1 枚中 ロピニロール塩酸塩 24mg

効能・効果：パーキンソン病

用法・用量：通常、成人にはロピニロール塩酸塩として1日1回8mgから始め、以後経過を観察しながら、必要に応じて1週間以上の間隔で、1日量として8mgずつ増量する。いずれの投与量の場合も1日1回、胸部、腹部、側腹部、大腿部又は上腕部のいずれかの皮膚に貼付し、24時間毎に貼り替える。なお、年齢、症状により適宜増減するが、ロピニロール塩酸塩として1日量64mgを超えないこととする。

1. 本剤は1日1回投与の経皮吸収型ドパミン作動性パーキンソン病治療剤である。
2. 本剤は薬物吸収過程において消化管障害の影響を受けない製剤である。
3. 本剤は経皮吸収型製剤のため患者の家族や介護者でも患者に貼ることができ、使用状況を目視で確認できること、手術前後に絶食を要する場合や誤嚥性肺炎等の全身状態の悪化に伴い経口摂取を中止せざるを得ない場合でも継続して使用できること、副作用が発現した際には剥離することによりそれ以上の曝露を回避できることといったメリットのある製剤である。
4. 本剤は支持体に直接日付が書き込める製剤である。
5. ハルロピテープ 8mg は正規採用。
6. 薬価は 1枚 610.9 円。

【正規採用削除医薬品】

アプレゾリン錠 10mg

サンファーマ

アメジニウムメチル硫酸塩錠 10mg 「サワイ」

沢井製薬

アボネックス筋注用シリンジ 30 μ g

バイオジェン・ジャパン

エピルビシン塩酸塩注射用 10mg 「サワイ」

沢井製薬

エピルビシン塩酸塩注射用 50mg 「サワイ」

沢井製薬

カルチコール注射液 8.5% 5mL

日医工

グリセレブ配合点滴静注 (200mL)

テルモ

サイトテック錠 200

ファイザー

サイレース錠 2mg

エーザイ

ジェムザール注射用 200mg

日本イーライリリー

ジェムザール注射用 1g

日本イーライリリー

ゾビラックス軟膏 5%

グラクソ・スミスクライ

タチオン注射用 200mg

日本ジェネリック

タリビッド耳科用液 0.3%

アルフレッサ ファーマ

ツムラ大柴胡湯エキス顆粒 (医療用)

ツムラ

1%ディプリバン注 20mL

サンド

<u>テプレノン細粒 10%「サワイ」</u>	沢井製薬
<u>ドレニゾンテープ 4 μg/cm²</u>	帝國製薬
<u>ボグリボース錠 0.3mg「トーワ」</u>	東和薬品
<u>ボルビックス注</u>	ヤクルト本社
<u>ミオピン点眼液</u>	参天製薬
<u>リドカイン塩酸塩注射液 0.5%「VTRS」</u>	ヴィアトリス製薬
<u>リドカイン塩酸塩注射液 1%「VTRS」</u>	ヴィアトリス製薬
<u>リドカイン塩酸塩注射液 2%「VTRS」</u>	ヴィアトリス製薬
<u>ルセンティス硝子体内注射用キット 10mg/mL</u>	ノバルティスファーマ

【院外採用削除医薬品】

<u>イニシンク配合錠</u>	帝人ファーマ
<u>トレリーフ OD 錠 25mg</u>	住友ファーマ
<u>レミニール OD 錠 8mg</u>	太陽ファルマ